

令和5年度

第1回山梨県文学館協議会資料

令和5年12月1日（金）

山梨県立文学館

資料目次

山梨県立文学館協議会委員名簿	1
山梨県附属機関の設置に関する条例ほか	3
山梨県文学館組織図	7
指定管理者組織図	8
山梨県立文学館の観覧者数の推移	9
<b>【審議事項】</b>	
（1）山梨県文学館協議会運営要綱ほか制定について	15
<b>【報告事項】</b>	
（2）令和4年度事業報告について	21
（3）令和5年度事業報告及び予定について	

# 文学館協議会委員名簿

任期: 令和5年9月29日～令和7年9月28日

氏名	役職	出身分野(勤務先等)		備考
		社会教育	(地域振興・商業) (地域振興・NPO) (文芸) (報道) (報道) (報道) (報道) (大学教育) (教育) (民間博物館) (地域振興・観光) (地域振興・書店) 柳正堂書店代表取締役社長	
大島 かな	甲府青年会議所理事長	社会教育	(地域振興・商業)	
西田 遙	NPO法人河原部社理事長	社会教育	(地域振興・NPO)	
矢崎 茂男	山梨芸協会長	学識経験	(文芸)	
山本 久美子	山梨日日新聞社論説委員	学識経験	(報道)	
水石 和仁	テレビ山梨報道制作局長	学識経験	(報道)	
成富 耕志	NHK甲府放送局副局長	学識経験	(報道)	
長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験	(大学教育)	
廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験	(教育)	
出澤 忠利	印傳博物館運営委員	学識経験	(民間博物館)	
仲田 道弘	やまなし観光推進機構理事長	学識経験	(地域振興・観光)	
大塚 茂	山梨県書店商業組合理事長	学識経験	(地域振興・書店) 柳正堂書店代表取締役社長	
秋山 和江	公募	家庭教育		
田口 綾乃	公募	家庭教育		
河手 由美香	県高等学校長協会代表	学校教育	北杜高等学校長	
横森 一哲	県立小中学校校長会代表	学校教育	中央市立玉穂南小学校長	



## ○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

### （趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （附属機関の設置及び担当事務）

第二条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2～4 略

### （組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者の中から、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

### （会長等）

第五条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

### （会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会等)

第七条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

(委任)

第九条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

一 知事の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県文学館協議会	博物館法第二十三条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以内	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県立文学館専門委員会	山梨県立文学館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	六人以内	一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者	二年

## ○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

(趣旨)

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例(昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠の委員の任期)

第二条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関(次に掲げる附属機関を除く。)に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

一～十 略

※次に掲げる一～十の附属機関に文学館協議会が入っていないため、会長を置く。

2 条例第五条第一項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

※次の表に文学館協議会はないため、副会長は置かない。

(定足数の特例)

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県文学館協議会	過半数

(資料の提出等の要求)

第八条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(意見の陳述)

第九条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

(庶務)

第十二条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

(委任)

第十三条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

## ○博物館法（抜粋）

(所管)

第十九条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた博物館にあつては、当該地方公共団体の長。第二十一条において同じ。)の所管に属する。

(博物館協議会)

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

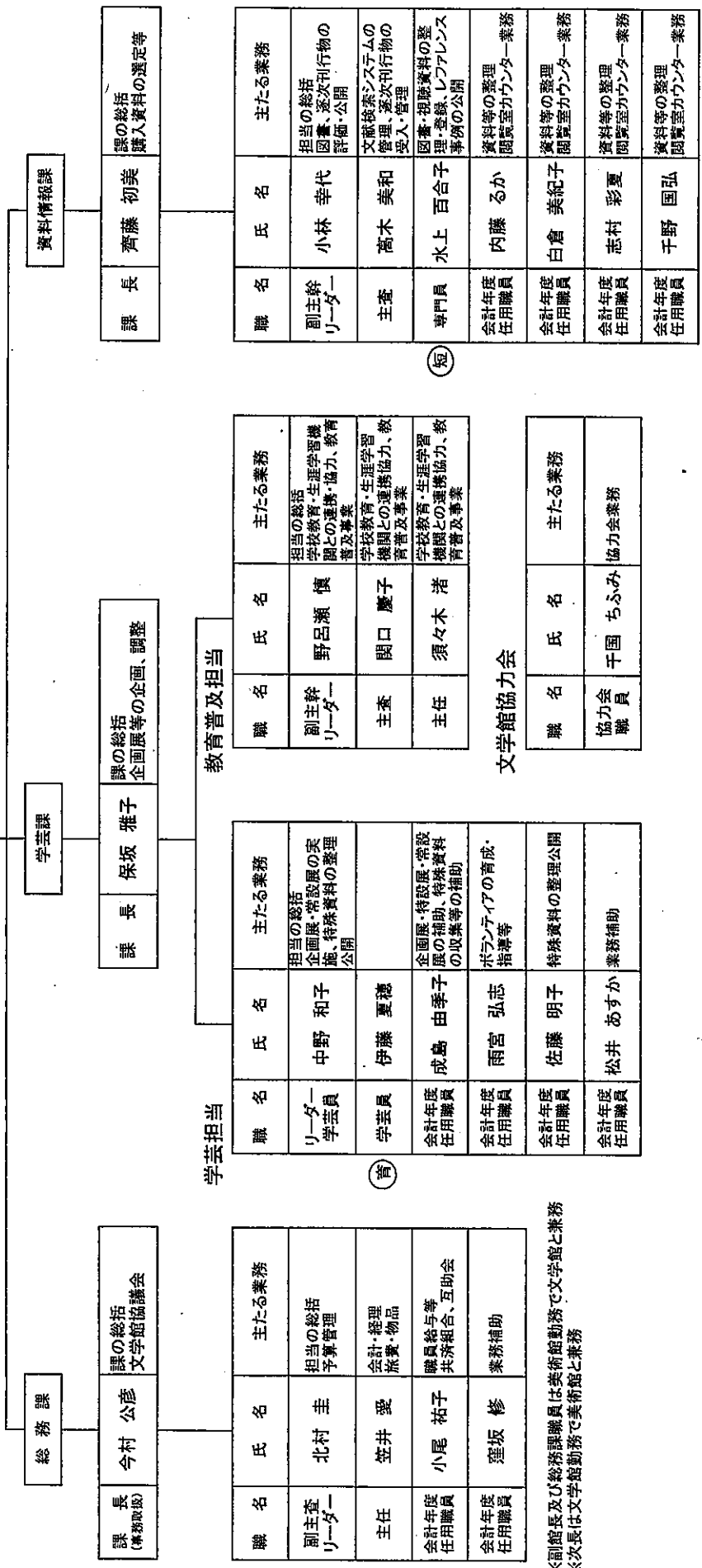
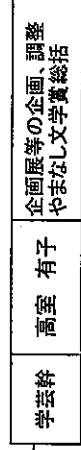
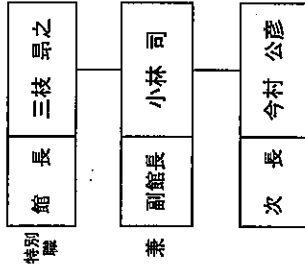
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。



# 文学館組織図

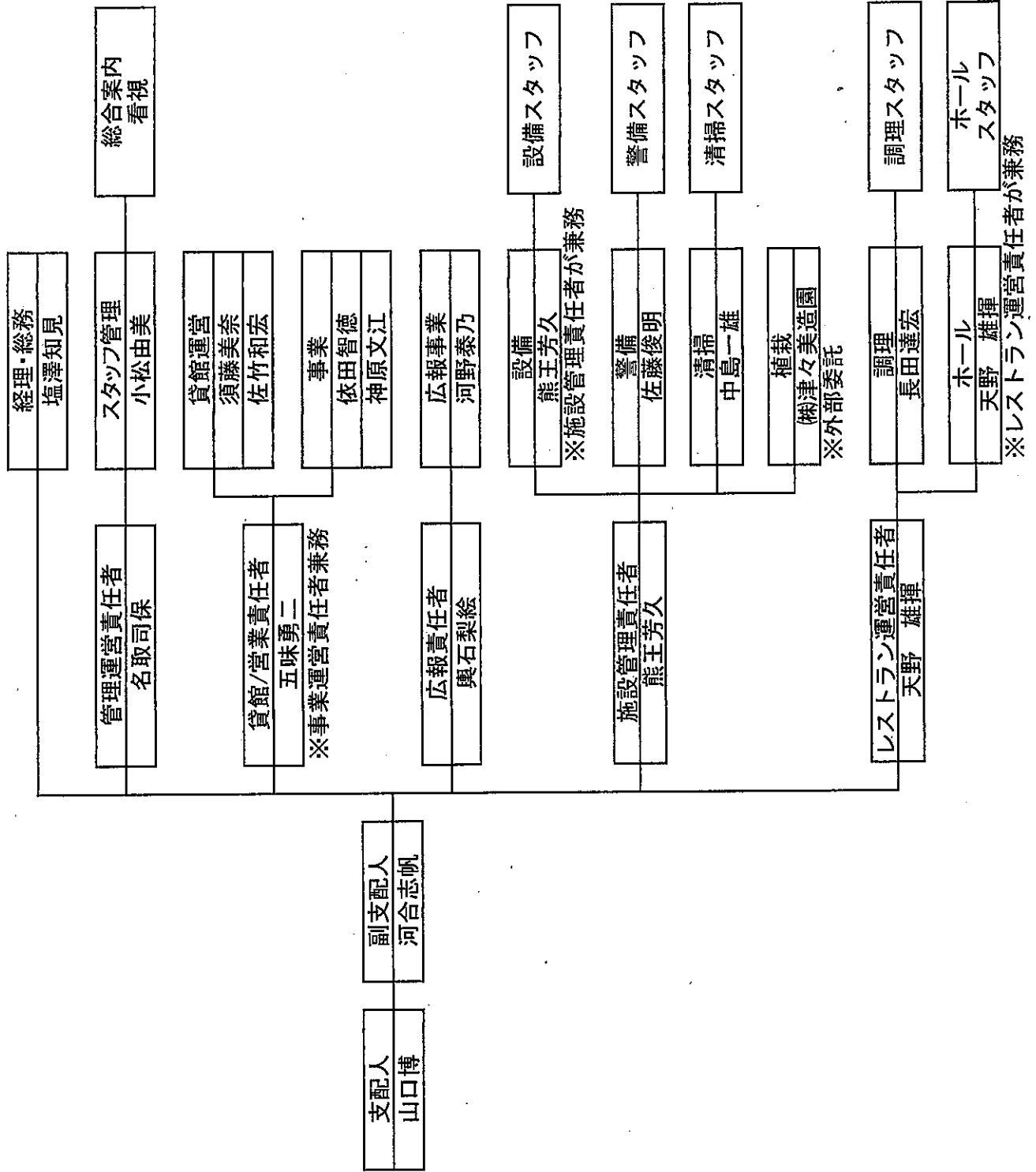
令和5年12月1日現在

県立文学館				
所属名	再任用短時間	特別職非常勤職員	会計年度任用職員	合計
正規職員	10	1	9	21
	(兼3)		(兼1)	(兼4)



※副館長及び総務課職員は美術館勤務で文学館と兼務  
※次長は文学館勤務で美術館と兼務

R5年度 指定管理組織体制



支配人	副支配人
山口博	河合志帆

## 文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,358	6,315	24,673
29	304	22,121	4,121	26,242
30	303	19,736	4,698	24,434
R1	274	22,538	11,466	34,004
R2	258	15,591	13,628	29,219
R3	273	13,548	5,599	19,147
R4	212	16,336	4,734	21,070
R5	133	12,578	20,704	33,282
計	9,841	897,326	431,470	1,299,882

R4年12月1日～R5年4月30日  
空調歌集工事の為臨時休館  
9月末現在(4月1日～4月30日臨時休館)

令和5年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	0	0	#DIV/0!
5	27	2,175	81
6	26	1,531	59
7	26	2,110	81
8	28	4,076	146
9	26	2,686	103
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	133	12,578	95

令和4年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,260	48
5	27	3,234	120
6	26	1,869	72
7	27	1,993	74
8	27	2,768	103
9	27	1,406	52
10	26	1,341	52
11	26	2,465	95
12	0	0	#####
1	0	0	#####
2	0	0	#####
3	0	0	#####
計	212	16,336	77

9月 まで	212	16,336	77
----------	-----	--------	----

前年同期比 77.0%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

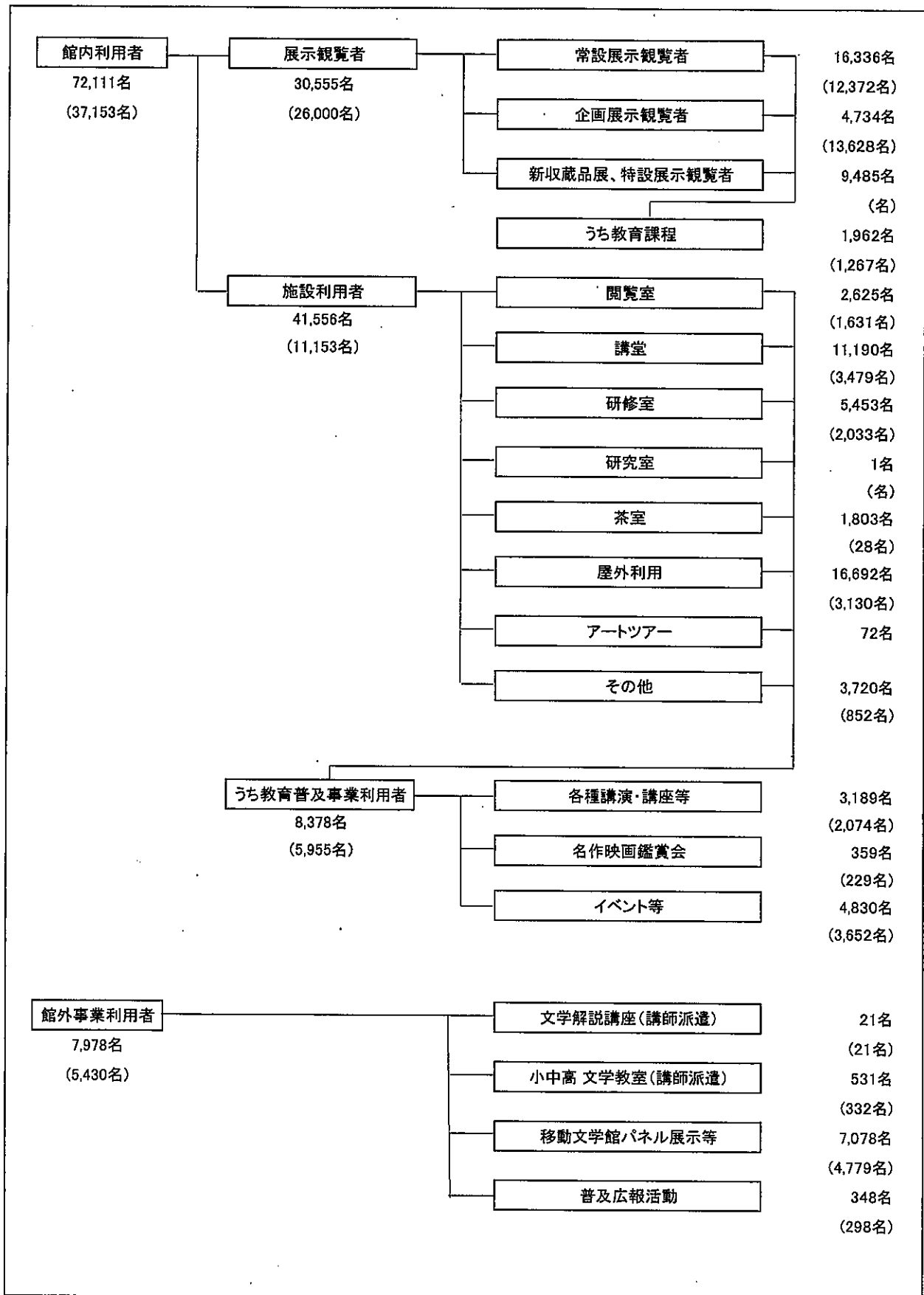
合計 1,673,971名

特設展観覧者数 266,033

新収蔵品展観覧者数 79,142

# 文学館における「利用者」の状況

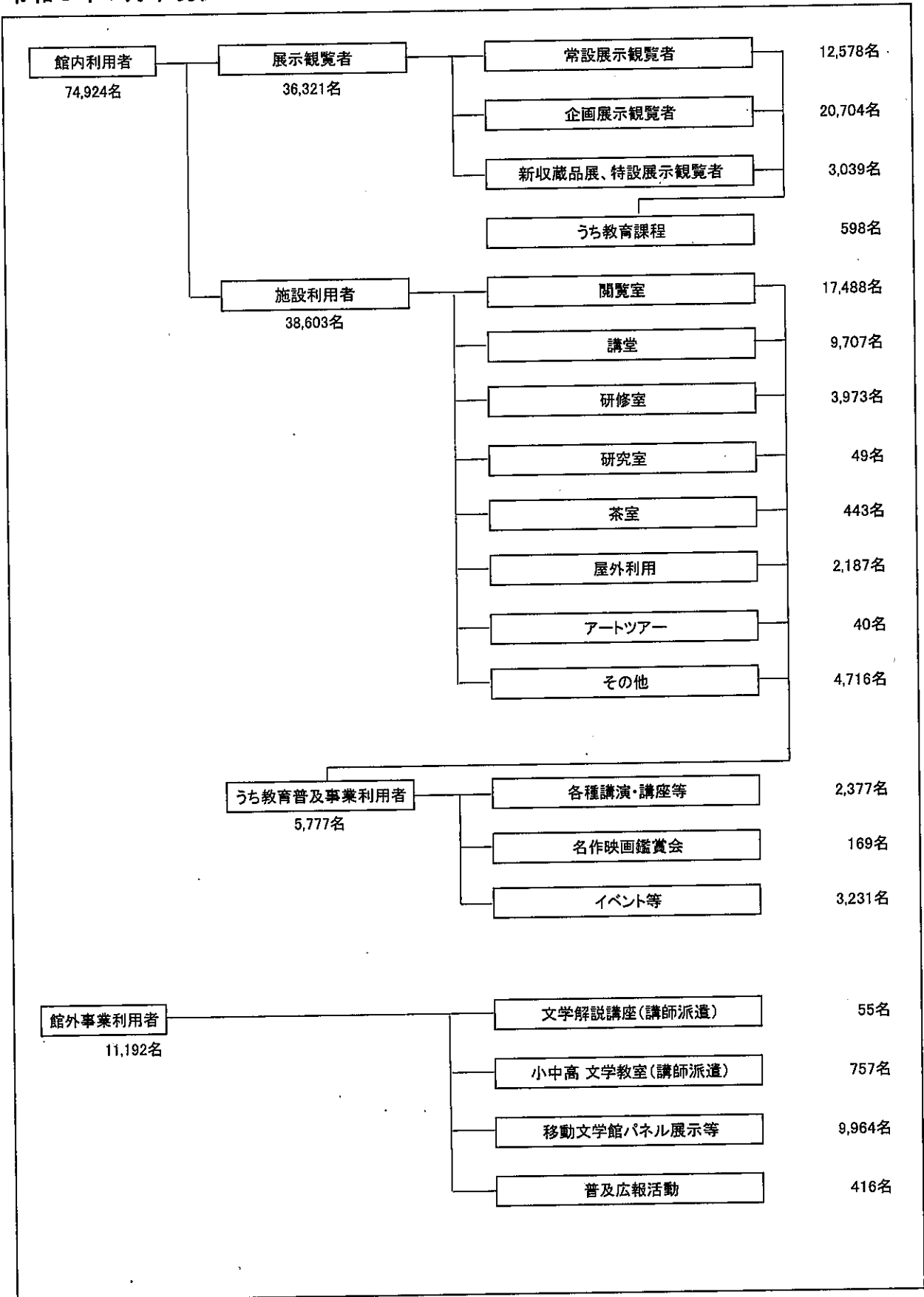
令和4年度実績 ( )内は令和4年9月末時点



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

# 文学館における「利用者」の状況

令和5年9月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

# 企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
H1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田晁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と檀一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	53	4,121	78
30	草野心平展	56	4,698	84
R1	宮沢賢治展	55	11,466	208
R2	林真理子展	64	13,628	213
R3	ミステリーの系譜	57	5,599	98
R4	樋口一葉展 生誕150年	59	4,734	80
R5	ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ	63	20,704	329
計		3,199	456,908	143

# 特設展観覧者数

年度	名 称	開催日数	観覧者数	一日平均
H2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻嵐外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の扇面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,327	106
4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界－富士見ゆる丘より」	54	6,650	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,876	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村星湖への手紙」	56	3,324	59
8	「『豹・レオパール』の詩人たち 一宮田桐夫資料より」	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 一西島麦南・松村蒼石・榎本虎山」	57	3,629	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「児童文学－山梨ゆかりの作家群－」	50	3,778	76
10	「鳴山草平資料」	23	757	33
11	「山岳関連名著展 一百瀬舜太郎コレクションより」	41	4,202	102
12	「脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌一大正から昭和初期」	42	1,068	25
13	「やまなしの児童文芸 一「赤い鳥」「金の船／金の星」「童話」を中心に」	41	2,086	51
13	「山梨の文芸誌－戦後から現代まで」	41	1,121	27
14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	山梨の農民文学	38	1,947	51
16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	山梨のアラギ派歌人展 伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	91
21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」－青い瞳の涙－	30	3,027	101
21	収蔵名品展（常設展観覧料で見せた）	44	3,007	68
23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	77
23	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	フランダースの犬	33	5,034	153
24	飯田蛇笏展	53	6,553	124
24	至宝展（国文祭関連で常設展観覧料で見せた）	54	3,490	65
25	富士山と文学	63	4,549	72
25	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
26	本のおしゃれ展（特別コーナー村岡花子と柳原白蓮）	34	10,309	303
27	田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	辻 嵐外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	宮沢賢治 保阪嘉内への手紙	47	5,367	114
29	歿後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	作家のデビュー展	44	8,322	189
30	生誕120年 井伏鱒二展	45	3,916	87
30	童話の花束 子どもたちへの贈り物	39	5,242	134
R1	太宰治 生誕110年	51	7,225	142
R1	山と水の文学	39	3,263	84
R2	飯田龍太展 生誕100年 ※コロナの影響で春から冬へ延期	50	2,760	55
R2	文学の中の富士山 ※コロナの影響でR3年度へ延期	-	-	-
R3	作家の愛用品	50	2,709	54
R3	文学の中の富士山 ※コロナの影響で会期短縮	19	1,005	53
R4	芥川龍之介 生誕130年 旅の記憶	51	5,287	104
R4	文学雑誌からZINE(ジン)へ	39	4,198	108
R5	文豪の筆跡 館蔵の名品から	37	3,039	82
R5	それぞれの源氏物語			
	計	2,428	266,033	110



## 山梨県文学館協議会運営要綱（案）

### （趣旨）

第1条 この要綱は、山梨県附属機関の設置に関する条例及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則に定めるもののほか、山梨県文学館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （所管事項）

第2条 協議会は、山梨県立文学館（以下「文学館」という。）の運営に関する答申又は意見を具申するため、次の事項について、調査及び審議する。

- 一 文学館の運営について
- 二 文学館の事業について
- 三 地域文化の推進について
- 四 その他必要な事項

### （会議）

第3条 会長は、会議を招集しようとするときは、その期日の1週間前までに、日時、場所及び付議すべき事項を委員に通知しなければならない。ただし、特別の理由がある場合は、この限りではない。

- 2 館長は、必要に応じて会長に会議の招集を求めることができる。
- 3 会議は必要に応じて書面による開催とすることができる。

### （委員以外の者の出席）

第4条 議長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を述べ又は説明させることができる。

### （答申等）

第5条 会長は、協議会において審議が終了したときは、議決を経て、その結果を館長に答申又は具申しなければならない。なお、この場合、少数意見その他必要と認める事項を付記するものとする。

### （庶務）

第6条 協議会の庶務は、文学館において行う。

### （委任）

第7条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、令和5年12月1日から施行する。

## 山梨県文学館協議会の会議結果等の作成に関する要領（案）

### （趣旨）

第1条 この要領は、審議会の会議の公開等に関する指針に定めるもののほか、山梨県文学館協議会（以下「協議会」という。）の会議結果及び会議録の作成並びに会議資料等の公表に関し必要な事項を定めるものとする。

### （会議結果）

第2条 協議会は、会議を開催したときは、次に掲げる事項を記載した会議結果を作成するものとする。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 出席者の氏名
- (3) 傍聴人の数
- (4) 議題
- (5) 会議の結果
- (6) 会議の公開又は非公開の別及び非公開の場合にあってはその理由
- (7) 会議資料又は会議録の公表の可否等
- (8) 問い合わせ先

2 会議結果は、会長の確認により確定するものとする。

### （会議録の作成）

第3条 協議会は、会議を開催したときは、次に掲げる事項を記載した要点筆記による会議録を作成するものとする。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 出席者の氏名
- (3) 傍聴人の数
- (4) 会議次第
- (5) 議題
- (6) 会議の公開又は非公開の別及び非公開の場合にあってはその理由
- (7) 議事の概要
- (8) その他必要な事項

2 会議録は、委員に校閲の機会を与えた後、会長の確認により確定するものとする。

### （会議資料等の公表）

第4条 協議会の会議結果、会議録及び会議資料等は、公表するものとする。ただし、協議会が特に必要と認めたときは、この限りでない。

### （細則）

第5条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、会長が協議会に諮って定めるものとする。

### 附 則

この要領は、令和5年12月1日から施行する。

## 山梨県文学館協議会傍聴要領（案）

### （趣旨）

第1条 この要領は、山梨県文学館協議会（以下「協議会」という。）の会議の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

### （傍聴者の決定等）

第2条 傍聴定員は3人とする。

2 協議会の事務局は、傍聴希望者（報道機関の関係者（以下「報道関係者」という。）を除く。以下同じ。）を、会議の開催当日に、所定の場所、時間に集合させるものとする。

3 前項の規定により集合した傍聴希望者数が、定員に満たない場合は傍聴希望者全員を傍聴者とし、定員を超える場合は先着順により傍聴者を決定する。

4 前項の規定により決定した傍聴者及び報道関係者には傍聴券を交付するものとする。

### （取材活動に対する配慮）

第3条 報道機関の取材活動については、可能な限り配慮するものとする。

### （傍聴席に入場することができない者）

第4条 次の者は、会議の会場に入場することができない。

① 傍聴券を所持しない者

② 審議を妨害し、又は他人に迷惑を及ぼすおそれがあると明らかに認められる者

### （傍聴者等の守るべき事項）

第5条 傍聴者及び報道関係者（以下「傍聴者等」という。）は、会議の秩序を乱し、又は審議の妨害になるような行為をしてはならない。

### （秩序の維持）

第6条 会長は、会議の円滑な運営を図るため、傍聴者等に必要な指示をし、又は事務局の職員に指示させることができる。

2 会長は、前項の指示をし、又は事務局の職員に指示させたにもかかわらず、傍聴者等が指示に従わないときは、傍聴者等を退場させることができる。

### （傍聴の心得）

第7条 公開の会議を開催する場合には、別に定めた傍聴の心得を傍聴券の裏面に印刷し、これを傍聴者等に交付するものとする。

### （実施細目）

第8条 この要領に定めのない事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

この要領は、令和5年12月1日から施行する。

(案)  
傍聴の心得

令和5年12月1日制定  
山梨県文学館協議会

1 傍聴する場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望する方（報道機関の関係者（以下「報道関係者」という。）を除く。以下同じ。）は、会議の開会予定時刻までに、協議会の会長の許可を得た上で、事務局の指示に従って会議の会場に入室してください。
- (2) 会議の傍聴を希望する方の傍聴の受付は先着順で行い、定員になり次第終了します。

2 会議の秩序の維持

- (1) 傍聴者及び報道関係者（以下「傍聴者等」という。）は、会議を傍聴するに当たっては、係員の指示に従ってください。
- (2) 傍聴者等が会議を傍聴する場合に守っていただく事項に違反したときは、退場していただく場合があります。

3 会議を傍聴する場合に守っていただく事項

傍聴者等は、会議を傍聴する際は、次の事項を守ってください。

- イ 会議開催中は、静粛に傍聴し、拍手その他の方法により、言論に対して公然と可否を表明しないこと。
- ロ 騒ぎ立てる等、議事を妨害しないこと。
- ハ 会場において、飲食又は喫煙を行わないこと。
- ニ その他会場の秩序を乱し、会議の支障となる行為をしないこと。

整理番号：

傍聴券（一般用）

会議の名称：山梨県文学館協議会

会議の日時：令和 年 月 日 13:30

開催場所：

山梨県文学館協議会事務局  
(山梨県立文学館)

整理番号：

傍聴券（一般用）

会議の名称：山梨県文学館協議会

会議の日時：令和 年 月 日 13:30

開催場所：

山梨県文学館協議会事務局  
(山梨県立文学館)

## 傍聴の心得

### 1 傍聴する場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望する方（報道機関の関係者（以下「報道関係者」という。）を除く。以下同じ。）は、会議の開会予定時刻までに、会場受付で協議会の会長の許可を得た上で、事務局の指示に従って会議の会場に入室してください。
- (2) 会議の傍聴を希望する方の傍聴の受付は先着順で行い、定員になり次第終了します。

### 2 会議の秩序の維持

- (1) 傍聴者及び報道関係者（以下「傍聴者等」という。）は、会議を傍聴するに当たっては、係員の指示に従ってください。
- (2) 傍聴者等が会議を傍聴する場合に守っていただく事項に違反したときは、退場していただく場合があります。

### 3 会議を傍聴する場合に守っていただく事項

傍聴者等は、会議を傍聴する際は、次の事項を守ってください。

- イ 会議開催中は、静粛に傍聴し、拍手その他の方法により、言論に対して公然と可否を表明しないこと。
- ロ 騒ぎ立てる等、議事を妨害しないこと。
- ハ 会場において、飲食又は喫煙を行わないこと。
- ニ その他会場の秩序を乱し、会議の支障となる行為をしないこと。

## 傍聴の心得

### 1 傍聴する場合の手続

- (1) 会議の傍聴を希望する方（報道機関の関係者（以下「報道関係者」という。）を除く。以下同じ。）は、会議の開会予定時刻までに、会場受付で協議会の会長の許可を得た上で、事務局の指示に従って会議の会場に入室してください。
- (2) 会議の傍聴を希望する方の傍聴の受付は先着順で行い、定員になり次第終了します。

### 2 会議の秩序の維持

- (1) 傍聴者及び報道関係者（以下「傍聴者等」という。）は、会議を傍聴するに当たっては、係員の指示に従ってください。
- (2) 傍聴者等が会議を傍聴する場合に守っていただく事項に違反したときは、退場していただく場合があります。

### 3 会議を傍聴する場合に守っていただく事項

傍聴者等は、会議を傍聴する際は、次の事項を守ってください。

- イ 会議開催中は、静粛に傍聴し、拍手その他の方法により、言論に対して公然と可否を表明しないこと。
- ロ 騒ぎ立てる等、議事を妨害しないこと。
- ハ 会場において、飲食又は喫煙を行わないこと。
- ニ その他会場の秩序を乱し、会議の支障となる行為をしないこと。

## 文学館活動目標

山梨県総合計画（第二次）では「文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現」することを目指すべき将来像に掲げています。そのため、次のとおり活動目標を掲げます。

### 【展示／見る】

魅力あるテーマによる「企画展」「特設展」の開催と、収蔵品を生かして山梨県出身・ゆかりの文学者を紹介する「常設展」の充実を図る。

### 【教育普及／学ぶ】

社会教育・学校教育と連携をはかり、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

### 【資料情報／収集・保存・公開】

山梨県出身・ゆかりの作家、作品に関わる資料を中心に収集・保存していくと同時に、広く公開して活用を図る。

### 【付加価値・魅力／たのしむ】

文学館及び芸術の森公園に、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行い、文化観光の拠点をめざす。

## 令和4年度の活動状況

※施設設備工事のため、年度後半、5か月間休館  
令和4年12月1日～令和5年4月30日

## 【展示/見る】

### 【特設展】

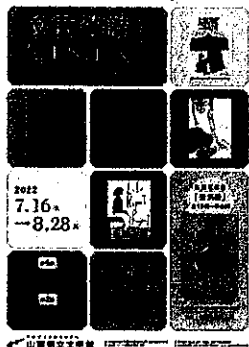
「芥川龍之介 生誕130年 旅の記憶」会期：令和4年4月23日～6月19日 5,287名

「文芸雑誌からZINE（ジン）へ—古今同ZINE誌—」

会期：7月16日～8月28日 4,198名



年報p31～34



年報p35～40

〈芥川龍之介 旅の記憶〉

・当館主要コレクション、芥川龍之介資料を活用。

〈文芸雑誌からZINEへ〉

・新収蔵「蜃気楼」の初出品。  
・県内アーティスト、高校生など若い世代を中心とした手作り雑誌ZINEを紹介。

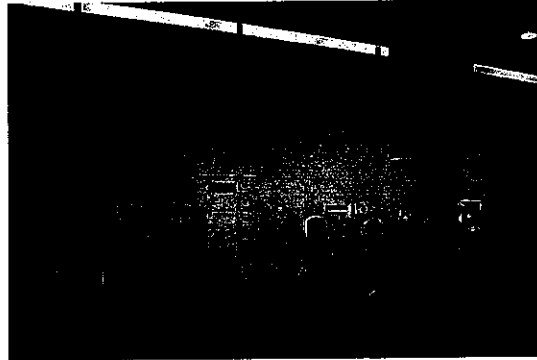
## 【展示/見る】

### 【企画展】

「樋口一葉 生誕150年 我が筆とるはまことなり」

—もっと知りたい樋口一葉—

会期：9月17日～11月23日 4,734名



年報p29～30

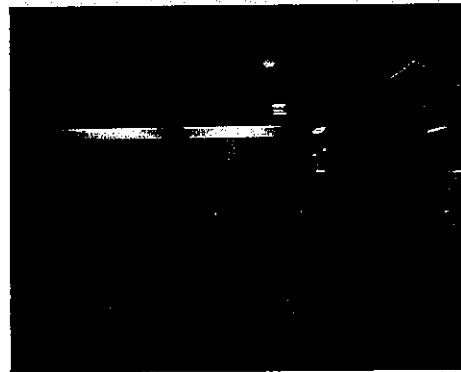
- ・館の主要コレクション、樋口一葉資料を活用。一葉の歌人としての面にスポットをあてた。
- ・都留文科大学生の参加を依頼。一葉の作品を、現代のSNS発信の形に置き換えて表現する、新しい試みをした。

## 【展示/見る】

### 【常設展】

年報p8～28

- ・春3月、夏6月、秋9月、一部の資料を入れ替え。（期間限定コーナーでは現代の山梨の作家を紹介）
- ・休館中、展示室に英語表記による作家解説パネルを設置。



三枝館長の出前授業

## 【教育普及/学ぶ】

年報p8～28

- ・夏の緊急企画「戦争を見つめる」連続講座2回、映画会1回を実施。
- ・休館中も附属中学校、長坂小学校等への出前授業や、各学校へのウトリーチを継続して実施。



## 【展示/見る】

### 【特別展示】

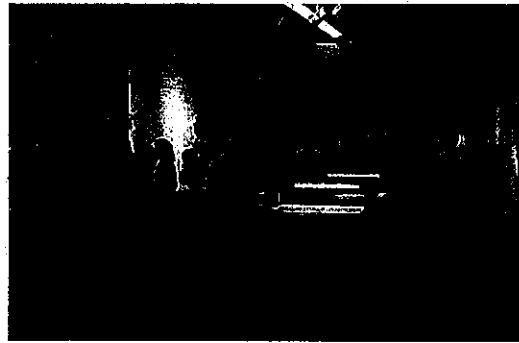
「文豪の筆跡 館蔵の名品から」 会期：令和5年5月1日～6月11日 3,039名

### 【企画展】

「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」 会期：7月15日～9月24日 20,704名  
過去3番目の来館者数を記録

### 【特設展示】

「それぞれの源氏物語」 会期：令和5年10月28日～12月17日（開催中）

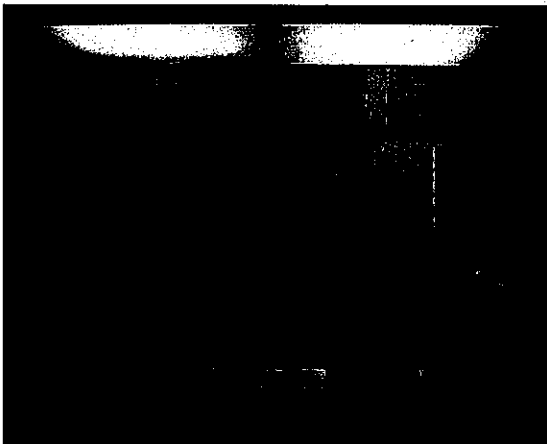


## 【展示/見る】

### 【常設展】

春・夏・秋・冬（5月、6月、8月、12月）、年4回、一部の資料入れ替え  
第1室で、期間限定のコーナーを設置

春・夏 作家の肖像Ⅰ 太宰治  
秋 昇仙峡名勝指定100年記念展示  
冬 作家の肖像Ⅱ 芥川龍之介（予定） 富士山の文学（予定）



左)常設展「作家の肖像Ⅰ 右)昇仙峡名勝指定100年記念展示

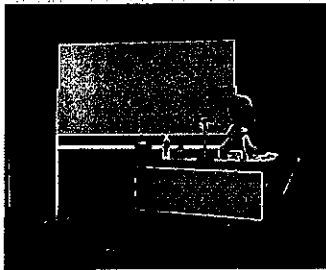
## 【教育普及/学ぶ】

### 【「文豪の筆跡」関連講演会】



中島国彦氏（早稲田大学名誉教授）  
を迎え、展示資料を含め、文学資料  
をどう読み解くかをテーマに講演

### 【年間文学講座】



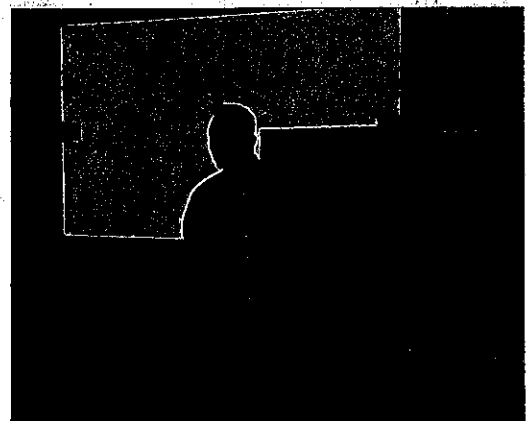
講座1（古典文学）講座2（近代文学）ともに「源氏物語」をテーマに設定

## 【教育普及/学ぶ】

### 【創作教室】

- ・川柳教室
- ・短歌教室
- ・小説創作教室

短歌と小説の創作教室では、高等学校文化連盟と共催で、高校生参加枠を  
設け、一般社会人と一緒に受講する機会としている。

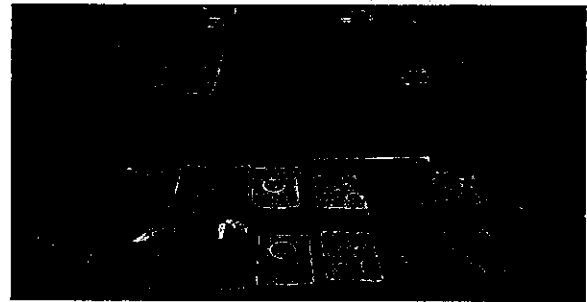
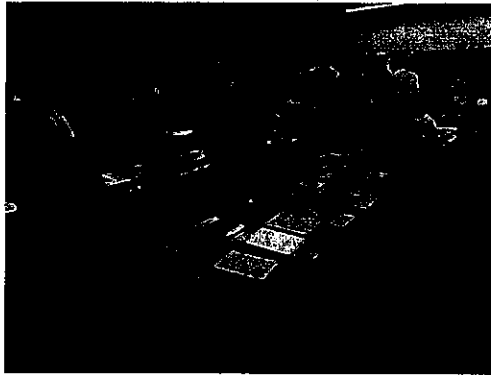


## 【教育普及/学ぶ】

### 【ZINE作り教室とZINEフェスティバル】



- ・創作と交流の場として令和3年度から実施。  
ワークショップ ……ZINEを制作。  
フェスティバル ……展示と配布。参加者の交流の場として開催
- ・令和5年は県内アーティストに加えて、県立大学、都留文科大学、笛吹高校、駿台甲府高校生が出品、参加。



左上)ZINE作りワークショップ  
左)ZINEフェスティバル会場、 右)笛吹高校の出品のZINE

## 【教育普及/学ぶ】

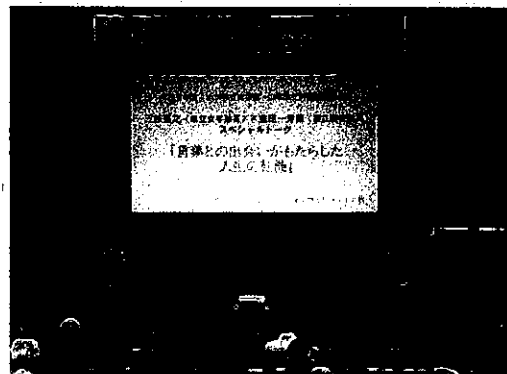
### 【ワークショップ】



- モノ作りを通じ企画展・特設展の内容に親しむ
- 銭天堂 …… サンキャッチャー作り
  - 源氏物語……つまみ細工 (予定)

### 【県立図書館との共催事業】

金田一秀穂県立図書館長と  
三枝昂之文学館長の対談



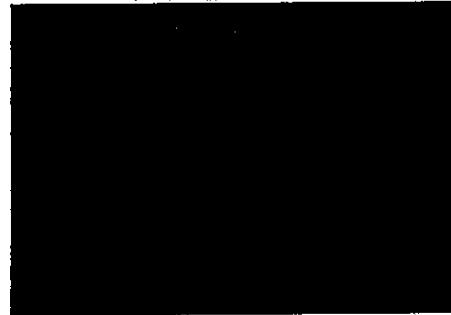
## 【教育普及/学ぶ】

### 【文学解説】 展示の解説

事前の打ち合わせにより、学年・時間にあわせた学習プログラムを提供



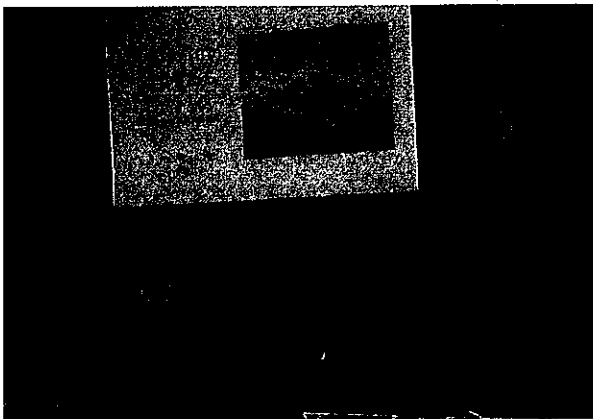
富士河口湖高校の常設展観覧



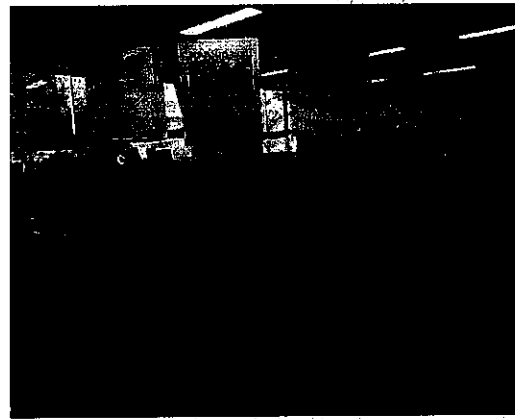
クイズを解きながら、山梨の文学者について学ぶ

## 【教育普及/学ぶ】

### 【出前授業】



### 【アウトリーチ】



このほか、  
名作映画鑑賞会、朗読公演会、教師のための学習会、ジュニアインターンシップ等を実施。

今後は、  
「それぞれの源氏物語」関連講演会・ワークショップ、朗読教室等を予定。

## 【資料情報/収集・保存・公開】

令和5年5月1日、再開。

閲覧室における事業として

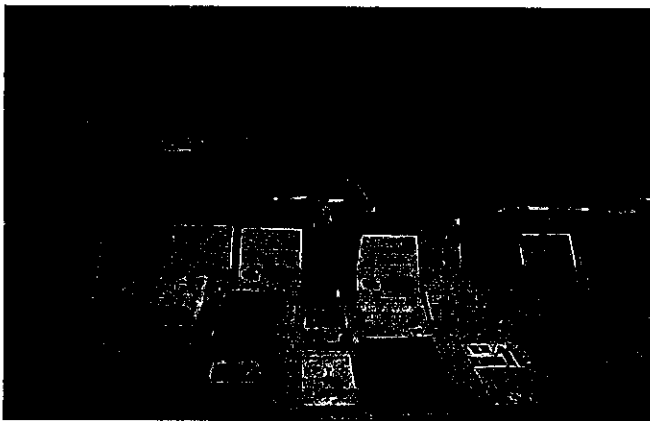
収蔵資料の閲覧、情報の提供、レファレンスサービス、複写サービスを実施。

資料の情報は、文献検索システムにより管理し、文学館HPの「蔵書検索」ページで公開。

このほか、収蔵する図書・雑誌を手にとって閲覧出来る展示コーナーを随時設営。

閲覧室の事業を紹介する、閲覧室トークを行っている。

## 【資料情報/収集・保存・公開】



閲覧室資料紹介



閲覧室トーク



令和5年度 企画展・特設展の実施と予定

	展覧会名	会期・日数	内 容	観覧者数
1	特別展示 文豪の筆跡 * 自主企画 常設展の一環として開催	令和5年 5月11日(月)～6月11日(日) 37日間	書は人なり― 書かれた文字には、その人の性格や人柄があらわれるといわれています。 森鷗外の鉛筆で書かれた楷書の文字が並ぶ原稿、夏目漱石が新聞社の専属作家になる際の条件や要望を毛筆で綴った書簡のほか、正岡子規、谷崎潤一郎ら文豪の直筆資料から、個性あふれる筆跡の魅力をご覧いただきながら、資料にひそむドラマチックな背景を紹介しました。	3,039名
2	企画展 ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ * 巡回展	令和5年 7月15日(土)～9月24日(日) 63日間	「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」は、作者：廣嶋玲子、挿絵：Ivaja (ジャジャ)による児童小説で、現在、第20巻まで発売されている人気シリーズです。 会場には、女主人紅子が営む「銭天堂」のカウンターなど、原作イラストを元にしたディスプレイで作品の舞台を再現しました。会場内だけでなく、芸術の森公園内にキャラクターのスタンディを設置するなど、屋内外に楽しいフォトスポットを散りばめました。	20,704名
3	特設展 それぞれの源氏物語 * 自主企画 常設展の一環として開催	令和5年 10月28日(土)～12月17日(日) 44日間	世界最古の長編小説と言われる「源氏物語」は、後世の文学、美術に多大な影響を与え、時代を超えて人々を惹きつけてきました。 三度の現代語訳に挑んだ与謝野晶子、原本に沿った訳に拘った谷崎潤一郎、やさしい言葉で読者に語りかけた円地文子など、近代以降、多くの作家が挑んだ「源氏物語」の現代語訳の変遷を、原稿、書画、書簡などで紹介しました。	開催中
4	新収蔵品展 * 観覧料無料	令和6年 1月27日(土)～3月24日(日) 50日間	令和4年度から令和5年度にかけて、当館が新たに収蔵した資料の中から、作家の直筆原稿や書簡、色紙や掛け軸などの書画を展示します。	開催予定





令和5年度 教育普及事業の実施状況と今後の予定 (9月末現在)

分類	事業名	内容	開催日	会場	参加人数	合計	
年間 文学 講座	講座1 「『源氏物語』「須磨」「明石」巻－光源氏の挫折と復活を周辺人物との関わりから読む－」  講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①光源氏と「須磨」巻の紫の上	5月27日(土)	講堂	42人	219人	
		②光源氏と藤壺・朧月夜	6月24日(土)		55人		
		③光源氏と左大臣・頭中将	7月29日(土)		41人		
		④光源氏と六条御息所・花散里	8月26日(土)		42人		
		⑤光源氏と明石入道	9月30日(土)		39人		
		⑥光源氏と桐壺院・朱雀帝・弘徽殿太后	10月28日(土)				
		⑦光源氏と明石の上	11月25日(土)				
		⑧光源氏と「明石」巻の紫の上	12月23日(土)				
	講座2 「近代文学における「光源氏」的な男たち」  講師：古川 裕佳 (都留文科大学教授)	①志賀直哉「児を盗む話」 女児を育てること	5月12日(金)	研修室	34人	138人	
		②志賀直哉「暗夜行路」のファミリーロマンス	6月9日(金)		30人		
		③志賀直哉「暗夜行路」の姦通	7月7日(金)		31人		
		④里見弴「多情仏心」の空虚な中心	8月4日(金)		26人		
		⑤里見弴「多情仏心」女性の配置から	9月15日(金)		17人		
		⑥谷崎潤一郎「痴人の愛」育った妻の裏切り	10月13日(金)				
		⑦谷崎と源氏物語	11月10日(金)				
		⑧谷崎潤一郎「台所太平記」文豪最後の夢	12月8日(金)				
	講座3  講師：当館芸員	①資料から読む作家の交友 講師：高室有子	6月4日(日)	研修室	32人	41人	
		②佐佐木茂索の日記を読む 講師：保坂雅子	9月10日(日)		9人		
		③「源氏物語」現代語訳のたのしみ 講師：中野和子	11月12日(日)				
	特設展・企画展 関連事業	「文豪の筆跡－館蔵の名品から－」関連事業	講演会「文学資料をどう読み解くか－毛筆・ペン・鉛筆の間」 講師：中島国彦 (早稲田大学名誉教授)	5月5日 (金・祝)	講堂	86人	133人
		「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」ワークショップ	ワークショップ「ガラス工芸でサンキャッチャーを作ろう」 講師：深沢和美	8月6日(日)	研修室	47人	
		「それぞれの源氏物語」関連事業	朗読公演会 紺野美沙子の朗読座「源氏物語～紫のゆかりの物語～」	10月29日(日)	講堂		
			講演会「『源氏物語』その面白さの秘密」 講師：林望(国文学者・作家)	11月11日(土)			
			講演会「樋口一葉の和歌と『源氏物語』」 講師：兵藤裕己 (学習院大学名誉教授)	12月9日(土)			
ワークショップ「つまみ細工で梅アクセサリーを作ろう」 講師：飯島 薫			12月17日(日)	研修室			
名作 一般向け	「桜田門外の変」	10月7日(土)					

鑑賞会		「キューポラのある街」	12月10日(日)	講堂		139人
	子ども向け	「西の魔女が死んだ」	8月5日(土)		139人	
文学創作教室	小さな本(ZINE)作り教室	講師:吉田朝麻	7月22日(土)	研修室	35人	121人
	川柳を詠もう	講師:井上信太郎	10月22日(日)			
	初心者短歌教室	① 講師:三枝浩樹	7月1日(土)		18人	
		② 講師:三枝浩樹	7月8日(土)		18人	
	小説創作教室	① 講師:川上健一	6月3日(土)		25人	
		② 講師:川上健一	10月14日(日)			
短歌講座	① 講師:三枝昂之	9月2日(土)	25人			
	② 講師:三枝浩樹	12月16日(土)				
ワークショップ	朗読教室	原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師:原きよ	1月28日(日)	研修室		
出前講座	山梨の文学解説講座	都留文科大学、峡南国語部会	2回		67人	1,161人
	小中高文学教室	県立中央高校 ほか	13回		1,094人	
文学解説	展示解説(一般向け)	河口湖教協図書館部会	1回	常設展 特設展 企画展	9人	623人
	展示解説(小中高大学生向け)	山梨英和中・高校文芸部ほか	20回		614人	
チャレンジクイズ	特別展示「文豪の筆跡」チャレンジクイズ	小中高一般	5月1日～6月11日	特設展	675人	
	チャレンジ文学館(わたしはだあれ?)	小中高一般	通年	常設展	511人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の森公園	125人	
実習受入	ジュニアインターンシップ	中高生(5人×2日、6人×1日)	7月26日～28日		16人	16人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習	7月19日～23日、25日		6人	
その他	アウトリーチ(移動文学館)	小中高 14校	通年		4,992人	5,850人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月23日	研修室	225人	
	博学連携広報活動	校長会・国語部会での普及事業説明			456人	
	教育センター共催研修	ZINE作り・展示室見学	7月27日	研修室	20人	
	山梨県立図書館共催企画	対談「三枝昂之館長×金田一秀穂館長スペシャルトーク」	8月11日(金・祝)	講堂	157人	

## 令和5年度 閲覧室事業実施状況

### ◆ 閲覧室資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	こどもの本のいま・むかし	令和5年7月14日(金)～9月24日(日)	企画展「ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ」関連
2	昇仙峡文学散歩	令和5年9月27日(水)～10月26日(木)	常設展「昇仙峡名勝指定100年記念」関連
3	平安文学―源氏物語を中心に―	令和5年10月28日(土)～12月17日(日)	特設展「それぞれの源氏物語」関連
4	教科書に載った文芸作品	令和6年1月30日(火)～4月5日(金)	

### ◆ 山梨の文学者資料紹介

	展示名	展示期間	備考
1	誕生日にちなんだ資料紹介 村岡花子(6月21日生まれ)	令和5年6月21日(水)～7月12日(水)	村岡花子 生誕130年
2	小林一三 生誕150年	令和5年9月27日(水)～10月26日(木)	小林一三 生誕150年
3	誕生日にちなんだ資料紹介 菊島隆三(1月28日生まれ)	令和6年1月17日(水)～2月4日(日)	
4	誕生日にちなんだ資料紹介 季良枝(3月15日生まれ)	令和6年3月1日(金)～3月24日(日)	

### ◆ その他の資料紹介

	タイトル	展示期間	備考
1	桜桃忌	令和5年6月16日(金)～6月20日(火)	太宰治関係資料
2	七夕と星の展示	令和5年7月1日(土)～7月13日(木)	
3	芥川と河童(河童忌)	令和5年7月22日(土)～7月27日(木)	芥川龍之介関係資料
4	蛇笏忌	令和5年9月29日(金)～10月6日(金)	飯田蛇笏関係資料
5	一葉忌	令和5年11月17日(金)～11月26日(日)	樋口一葉関連資料
6	クリスマスの展示	令和5年12月8日(金)～12月24日(日)	
7	周五郎忌	令和6年2月 日(金)～月 日(金)	山本周五郎関係資料

### ◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介している。

令和5年度は、7月23日(日)、8月19日(土)、11月20日(月・県民の日)に実施。



## 【閲覧室利用統計】

### 閲覧室利用状況(内訳)

単位:件(R5.9.30現在)

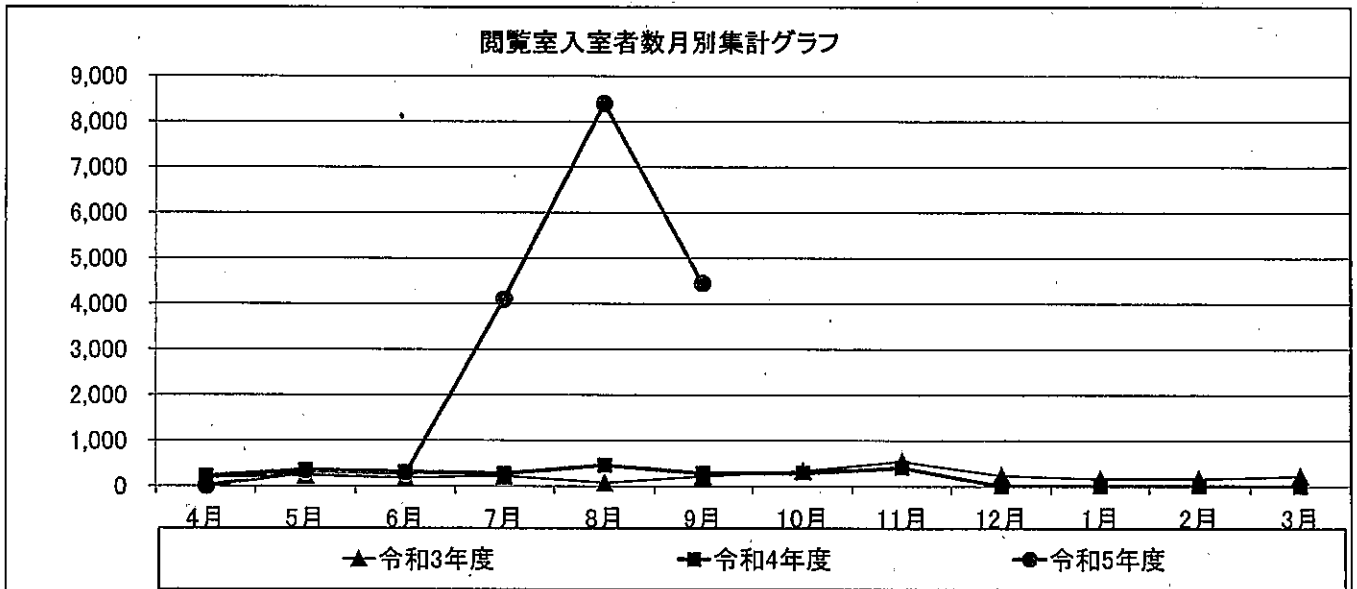
	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
令和3年度	203	2,228	38	184	445	576	923	0	320	357
令和4年度	212	2,626	38	199	760	519	1,445	10	460	625
令和5年度 (9月30日現在)	134	17,537	28	129	373	414	848	106	439	344

### 閲覧室入室者(月別)

単位:人(R5.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
令和3年度	191	229	185	224	74	215	332	543	235	165	163	227	2,783	10
令和4年度	220	356	314	278	460	292	298	408	0	0	0	0	2,626	12
令和5年度	0	302	277	4,101	8,404	4,453							17,537	131

閲覧室入室者数月別集計グラフ



### 調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件(R5.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
令和3年度	52	82	53	88	29	57	58	80	77	45	74	71	766	3
令和4年度	71	61	47	52	59	45	46	84	14	22	18	11	530	3
令和5年度	29	73	66	69	103	74							414	3

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚(R5.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
令和3年度	22	173	28	350	80	80	11	133	46	83	95	592	1,693	8
令和4年度	312	105	206	144	90	173	251	130	39	5	0	786	2,241	11
令和5年度	3	153	378	38	221	161							954	7

# 令和4年度 文学館協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園 指定管理者  
SPS・桔梗屋・KBS共同事業

## ◆目次

- ▶ 1. 指定管理第3期の運営方針
- ▶ 2. 新たな魅力の発掘と発信
  - ① 展覧会観覧誘致のための広報活動
  - ② 観光資源としての魅力アピール
- ▶ 3. カフェの取り組み
- ▶ 4. 安心・安全な施設の維持管理

# 1. 指定管理第3期の運営方針

## 指定管理第3期（4年間）の運営方針

- 施設の新たな魅力の発掘と発信  
観光資源としての魅力をアピール  
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる  
地元企業や団体等との強固な関係構築  
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化  
施設維持管理会社が共同事業体へ参画  
効果的・効率的で安定した施設管理

# 2. 新たな魅力の発掘と発信 —①観光資源としての広報展開

## ● 県内ホテル関係者向け招待ツアーの実施

来館者アンケートの分析より、「宿泊したホテルで紹介を受けて」が来館きっかけとなるお客様が一定数おり、ホテルコンシェルジュに当館の魅力を知ってもらい、宿泊者にお勧めいただくことを目的に実施。参加者からは「ぜひお客様にもアピールしたい」との嬉しいお声もいただいた。参加が難しいという施設ごとの事情を知ることでもできたため、ホテルスタッフが参加しやすい形態を再検討し、次回開催に生かしていく。



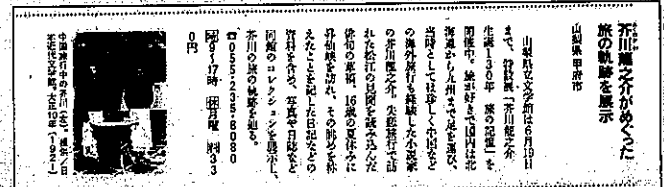
レストランの様子



本開催の様子

## ● オンラインプレスリリースの活用

約1,000媒体・記者にリリースをメール配信。之介展では「旅の手帖」やWEB「プレミアム」などで掲載された。その他の展覧会でもプレスリリースを活用したことで当館の展示ができた。今年度も継続するとともに、新サービスの利用も検討していく。



旅の手帖



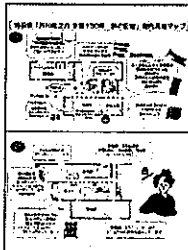
シャンプレミアム



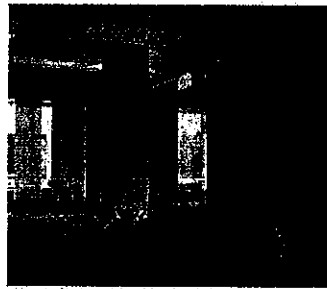
## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —①展覧会観覧誘致のための広報活動

### ● 「芥川龍之介 旅の記憶」展 (4月23日~6月19日) 来館者：5,277

旅がテーマの展覧会であったため、県内の観光協会や旅行事業者にもチラシを送付し、周知した。また、展覧会を盛り上げるべく、指定管理者でも関連イベントを実施。イベントを記載した館内パンフレットに館全体をまわっていただけよう工夫した。



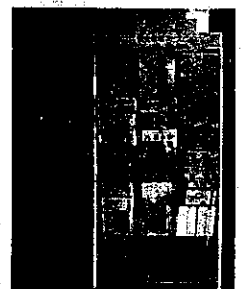
マップ



芥川の旅先につわる言葉を  
タペストリーにして展示



芥川におすすめしたい  
観光スポットを募集



芥川が旅行した旅先  
のパンフレットを設置

## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —①展覧会観覧誘致のための広報活動

### ● 「文芸雑誌からZINE(ジン)へ」展 (7月16日~8月28日) 来館者：4,167

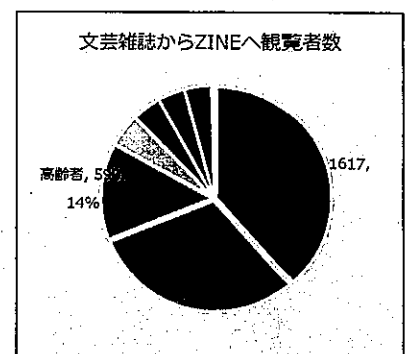
観覧者の内、全体の90%が県内在住者であった。内訳を見ると、「一般・大学生」と「小中高生」が大半を占めた。チラシを若い世代の興味を引くカラフルなデザインしたこと、美術館「絵本原画の世界」の観覧客を誘導するために、美術館ピロティに、本展の紹介看板を設置。太宰と芥川のイラストを用いたデザインにした。その効果もあり、ターゲットである夏休み中の10代、20代とその家族を集客することになった。



展覧会チラシ  
若い世代の興味を引く、  
カラフルなデザインにした



美術館ピロティに設置した  
文学館への誘導看板



観覧者数割合

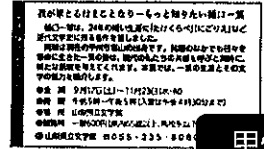
## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —①展覧会観覧誘致のための広報活動

### ●「もっと知りたい 樋口一葉」展 (9月17日～11月23日) 来館者：4,

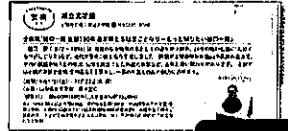
テレビ山梨「スゴろく」の人気コーナー「山梨ココどこ」での紹介を依頼。ちょうど見ごろを迎えた芸術の里で、ドローンで撮影し、文学館で「樋口一葉展」を開催中であることを告知した。また、市町村と連携し、親の出身地である甲州市などの広報誌への掲載を獲得し、山梨にゆかりのある樋口一葉を周知する。



テレビ山梨クイズコーナー「山梨ココどこ」にてドローン映像で紹介



甲州市



笛吹市

市町村広報誌

## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —②県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進

### ●アウトリーチ・出張！ 県立文学館

令和4年12月から令和5年4月まで文学館は空調工事の関係で休館となったが、その間に文学館をPRし、再開後の集客に繋げるべくアウトリーチでワークショップイベントを開催。第1回は県立図書館(2/26)、第2回はイオンモール甲府昭和店(3/21)で開催。

オリジナルペーパーバック作りとサコッシュ作りのワークショップ、PR動画の上映・PRパネルの展示を家族連れや高齢者を中心に賑わった。ペーパーバックには芥川龍之介の「鼻」原稿と河童の絵をデコレーション、サコッシュ用に樋口一葉や太宰治等をキャラクター化したオリジナルスタンプを作成し、どちらも好評を博した。

また7月に開催する企画展「銭天堂」のオリジナルぬりえも配布し、同企画展の周知を行った。

【参加人数】県立図書館 101名 イオンモール甲府昭和店 592名



県立図書館



イオンモール甲府昭和店



オリジナルスタンプ



ペーパーバック

## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —③観光資源としての魅力アピール

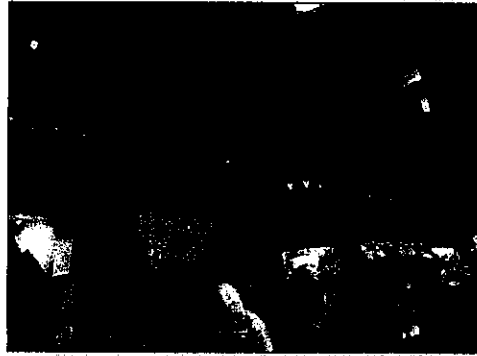
### ●山梨県郷土伝統工芸品 甲州武者幟・鯉のぼり展示 (4/26~6/5)

### ●くがわしんとく幼稚園連携 壁紙アート鯉のぼり展示 (4/23~5/8)

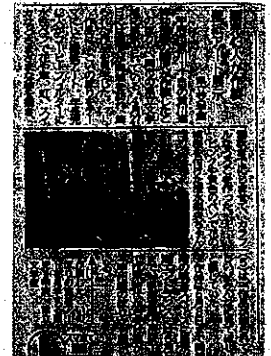
端午の節句に合わせて、平成30年より継続して、文学館エントランスホールの天井に「甲州鯉のぼり」(協賛:南アルプス市)を展示。来館者に季節を感じていただくと共に県内の伝統文化に触れていただく。初の試みとして、くがわしんとく幼稚園と連携して園児が作った壁紙アートによる鯉のぼりの展示が文学館を訪れ、自分たちの作品が展示の様子や、エントランスの巨大鯉のぼりを見て喜んでいました。



園児が自分たちが作った作品を鑑賞



甲州鯉のぼりを園児が鑑賞

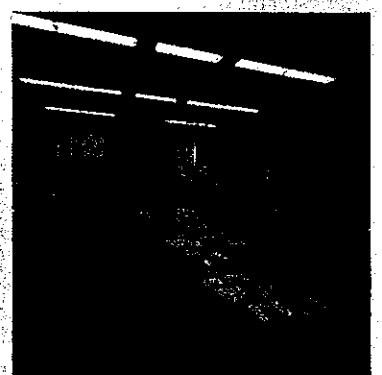
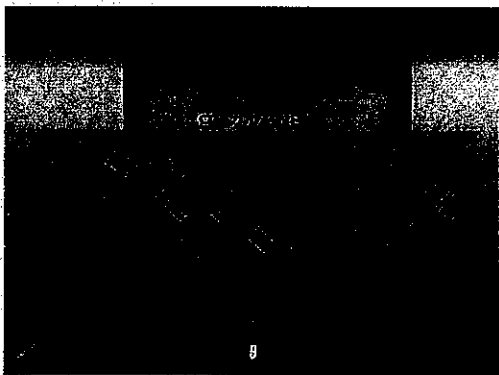


新聞記事

## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —③観光資源としての魅力アピール

### ●特設展「文芸雑誌からZINE(ジン)へ」関連イベント

教育普及担当との連携イベントとしてZINEフェスティバル(7/24)に開催。展示の一部と配布でき担当。約80種類の「ローカルZINE(=地域の自治体や団体等が作成するフリーペーパー/マガジン)」のチラシ等を集め、全国のZINEイベントを紹介。フェスティバルで展示したものや配布しきれなかったZINEは、展覧会終了日まで配布を行った。

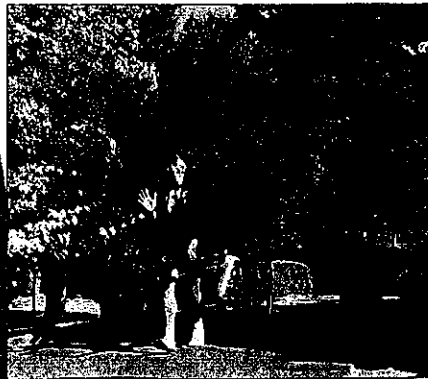


ローカルZINE展示風景

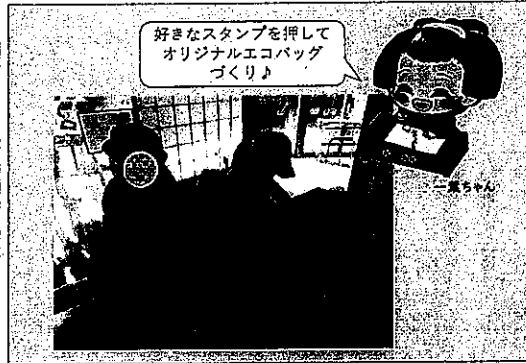
## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —③観光資源としての魅力アピール

### ●企画展「もっと知りたい 樋口一葉展」関連イベント(11/3)

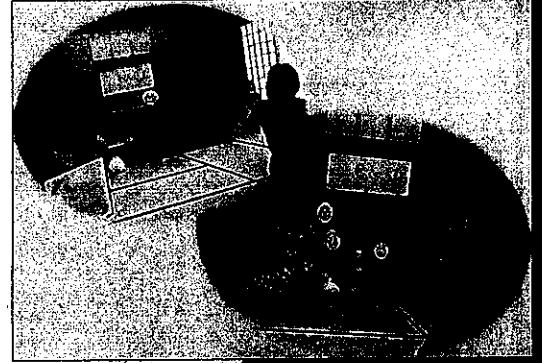
樋口一葉展にちなんで一葉が生きた明治時代に発明された人力車で秋の芸術の森公園を人力車  
実施。同日に芸術の森公園や茶室「素心菴」で開催された資料情報課主催の「フオトスポットin芸  
協力。一葉のオリジナルスタンプをつくり、それを使ったエコバッグづくりや和傘をディスプレイした和室に  
ポット」を設置。芸術の森公園、茶室の周知・活性化に繋げることができた。《開催時間・参加者数  
参加人数、人力車：36組84名、dコバックWS：118名 ☆和傘フオトスポット：152名



人力車



茶室でのエコバックづくり



茶室での和傘のフオトスポット

## 2. 新たな魅力の発掘と発信 —③観光資源としての魅力アピール

### ●秋のガイドツアーの開催 (10/30・11/20)

文学館と芸術の森公園をより知っていただく目的として秋のガイドツアーを3コースで企画。

ふみの池ツアー(10/30)、子どもツアー・文学館ツアー(11/20)を開催。

今回初めて紅葉の見ごろを迎えた日本庭園を紹介する「ふみの池ツアー」を開催、参加者からは「知らないような所を知ることができた」というお声をいただいた。「子どもツアー」では公園内の彫刻を  
り易いクイズ形式で紹介。「文学館ツアー」では展示室内の資料の他に講堂の緞帳やシンボルマーク  
通常の観覧では知ることのない情報もあわせて紹介した。

参加者数：ふみの池ツアー 13名、こどもツアー 16名、文学館ツアー 9名



ふみの池ツアー



こどもツアー



文学館ツアー

## 2. 新たな魅力の発掘と発信 ー③観光資源としての魅力アピール

### ●「ミュゼ・マルシェ」の開催

「山梨の文化の発信地である山梨県立美術館 & 文学館で、山梨のクリエイター文化を発信するイベントを。」をコンセプトに12月3日・4日でミュゼ・マルシェを開催した。県内の飲食店や雑貨店、体験型ワークショップなど130店舗に出展いただき、芸術の森公園が華やいだ雰囲気にも包まれた。2日間で8,000人を超える来場者で賑わった。  
【参加人数】12/3：3,900人、12/4：4,200人合計 8,100人



## 3. カフェの取り組み

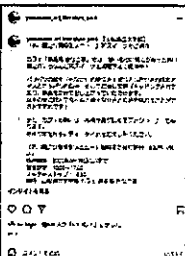
### ● カフェ 黒蜜庵きなこ亭：展覧会の内容に合わせたメニューを用意

#### 「芥川龍之介 旅の記憶」展

甘いものに関心があった芥川龍之介にちなんで最中を使った和スイーツを提供。インスタグラムでも情報を掲載し、展覧会との相乗効果を狙った。



88食

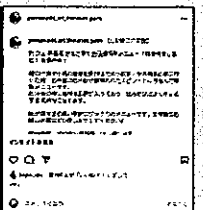


#### 「もっと知りたい 樋口一葉」展

樋口一葉が、慕っていた半井桃水からおしるこを振舞われたエピソードから、桔梗信玄餅をいれたおしるこを提供。展覧会と合わせて広報を行った。



214食



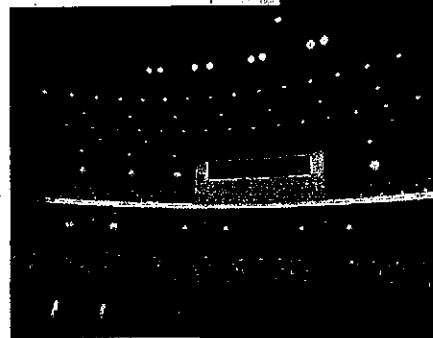
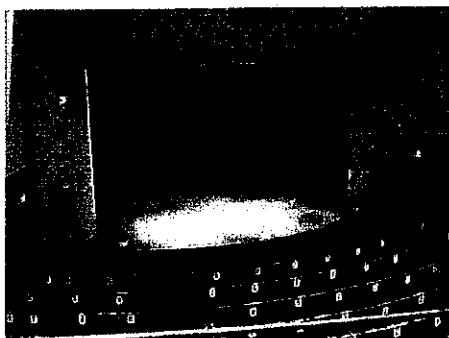
## 4. 安心・安全な施設の維持管理

### ● 講堂 照明の節電調整

電力需給のひっ迫時に備えて、消費電力の大きい講堂の舞台照明に節電調整を実施。常用している照明の灯数削減と、出力上限を70～80%に制限。約44%の消費電力削減と空調への負荷低減も見込んだ。

またこの影響で、舞台上が暗くならないよう、明かりのムラを無くしながら、全体を効率の良い調整。調整以降、舞台が暗いといったご指摘は発生せずに運用できている。

文学館は東海大学附属の劇場内照明(10以上の演出設備)			
パースペンションライト	実装数 2000 W 2 灯		2,000 W
	変更後 800 W 2 灯		1,600 W
			出力上限80%に設定
ポーターライト	実装数 100 W 49 灯		4,900 W
	変更後 80 W 30 灯		2,400 W
			出力上限80%に設定、灯数削減
プロビームライト	実装数 1000 W 8 灯		8,000 W
	変更後 700 W 6 灯		4,200 W
			出力上限70%に設定、灯数削減
シーリングライト	実装数 1000 W 10 灯		10,000 W
	変更後 700 W 8 灯		5,600 W
			出力上限70%に設定、灯数削減
	合計	実装数	24,300 W
		変更後	13,800 W
想定消費電力 1日の総消費電力(1灯1日1時間)と削減した場合の総消費電力を比較。			
	総消費電力	削減率	
実装数: 24,300W	×	30h	= 729,000Wh (729kw/h)
変更後: 13,800W	×	30h	= 414,000Wh (414kw/h)
			315,000Wh (315kw/h) の削減(44%削減)
		年間消費電力	3,851,000Wh (3,851kw)



変更後の電気消費量

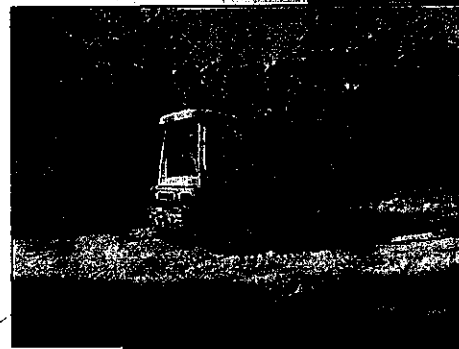
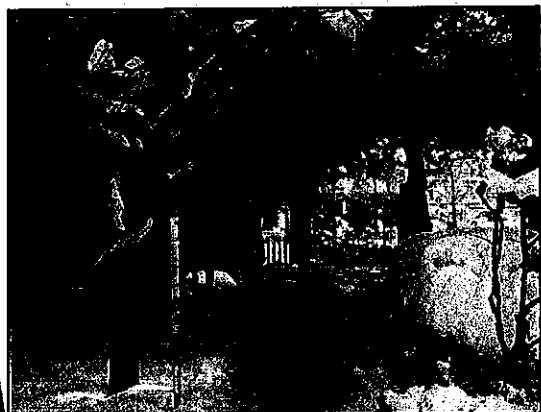
変更後の講堂の照明

## 4. 安心・安全な施設の維持管理

### ● 大雪による臨時休館

2月10日に甲府市では積雪20cmを観測。12時18分に大雪警報が発表されたことで、文学館では15時30分に臨時休館の措置を取った。指定管理者としては、観覧中のお客様への同伴表示やHPでお知らせ、SNSの配信を行い、お客様が混乱しないよう努めた。

また、雪かきを行いお客様を迎えることができるように導線を確保するとともに、翌日の11日には駐車入れ雪の除去を行った。公園には折れた枝が多くあったため撤去して通路の確保を行った。





以上





# 令和5年度 上半期 文学館協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者  
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

## ◆目次

- ▶ 1. 指定管理令和5年度の運営方針
- ▶ 2. 来館者増へ繋がる取り組み強化
  - ▶ ①地域力を発揮し、来館者増へ
  - ▶ ②環境変化に対応し、サービス向上
- ▶ 3. 安心・安全な施設の維持管理

## 1. 指定管理令和5年度の運営方針

### 指定管理令和5年度（1年間）の運営方針

#### 指定管理令和5年度（1年間）の運営方針

- 地域力を発揮し観光客を含む来館者増に繋がる  
取り組みを強化
- 環境変化に対応し、来館者サービスの向上
- 安心・安全で効率的な施設運営

## 2. 来館者増へ繋がる取り組み強化 —①地域力を発揮し、来館者増へ

### ●アウトリーチ・出張！県立文学館 in イトーヨーカドー甲府昭和店（4/2）

令和4年12月から4月まで文学館は空調工事の関係で休館となったが、その間を利用して、再開後の集客に繋げるべくアウトリーチでワークショップイベントを開催。昨年度に引き続き3日、イトーヨーカ堂甲府昭和店で開催。

オリジナルペーパーバック作りとサコッシュ作りのワークショップ、PR動画の上映・PRパネルの展示を家族連れや高齢者を中心に賑わった。ペーパーバックには芥川龍之介の「鼻」原稿と河童の絵をデッサン用紙にコッシュ用に樋口一葉や太宰治等をキャラクター化したオリジナルスタンプを作成し、どちらも好評を博した。また7月に開催する企画展「銭天堂」のオリジナルぬりえも配布し、同企画展の周知を行った。

【参加人数】 232名



ワークショップ風景



オリジナルスタンプ



ペーパーバッグ

## 2. 来館者増へ繋がる取り組み強化 —①地域力を発揮し、来館者増へ

### ●文学館・美術館 市町村との連携 営業活動

市町村との連携を強化することで、文学館・美術館の観覧者数を増やす目的として県内10ヶ所へ訪問。

7月に開催した「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」と「ミレーと4人の現代作家たち」の展覧会市町村発行の広報誌に掲載いただけるよう担当者に直接依頼した。広報誌は全戸配布されることになり、掲載につなげることで、来館者増を目指した。



銭天堂・ミレー展をPR

- ・甲斐市役所
- ・南アルプス市役所
- ・笛吹市役所
- ・山梨市役所
- ・甲州市役所
- ・昭和町役場
- ・中央市役所
- ・富士川町役場
- ・韮崎市役所
- ・北杜市役所

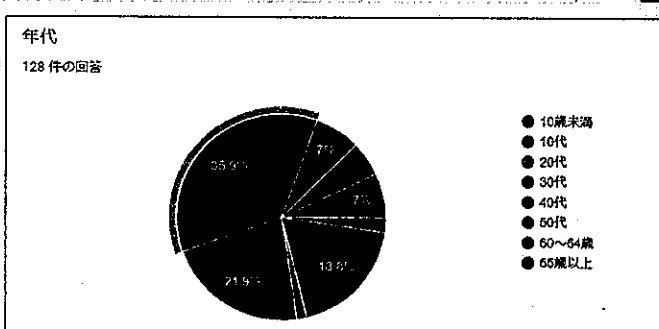
訪問先

## 2. 来館者増へ繋がる取り組み強化 —①地域力を発揮し、来館者増へ

### ●「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」

7月15日～9月24日の会期(63日間)で開催した「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」展の観覧者が20,704人となった。文学館の企画展としては、平成26年度に開催した「村岡花子展」(34,844人)以来の、観覧者2万人達成で大きく目標を上回った。(目標数13,451人)

アンケート結果では、10代および30代・40代が来館者の8割近くを占めた。また常設展観覧者も伸びており、次世代の観覧者に文学館を知ってもらうきっかけになったと考えられる。



アンケート結果

## 2. 来館者増へ繋がる、取り組み強化 ー②環境変化に対応し、サービス向上

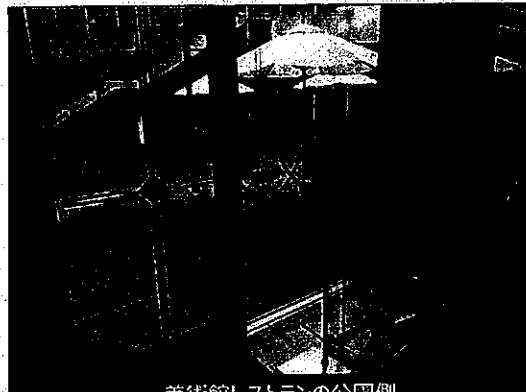
### ●文学館・美術館 出入口の全開放

文学館では、今回カフェ・スペースにある公園側の出入口を開放。美術館でもレストランの公園側(ミュージアムコート側)の出入口を開放した。両館共に検温・消毒器を設置し感染症対策を行ったうえで、お客様の利便性や非常口としての安全面も考慮し再開することとした。

これでコロナ対策に関連した出入口の封鎖は、全て解除されることとなった。



文学館カフェ・スペースの公園側出入口

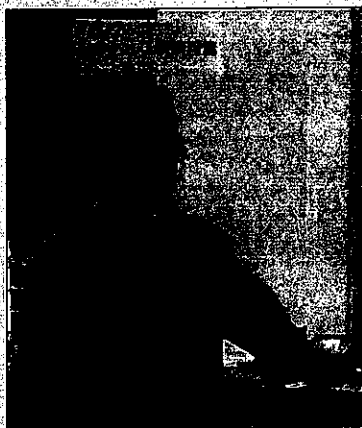


美術館レストランの公園側  
(ミュージアムコート側)出入口

## 2. 来館者増へ繋がる、取り組み強化 ー②環境変化に対応し、サービス向上

### ●キャッシュレス決済の開始 (5/1～)

5月1日から文学館の観覧チケット購入でキャッシュレス決済を開始した。今までクレジットカードや交通系ICの使用を希望されるお客様が多かったため、あらゆる支払い方法やブランドに対応できるようにしている。



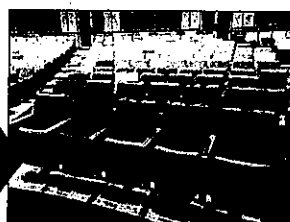
使用できるブランド

### 3. 安心・安全な施設の維持管理

#### ● 文学館・美術館、貸館の定員制限の緩和

文学館では、コロナ感染症対策で縮小していた定員数を5月からの再開に合わせて緩和し、研修室・茶室の予約をいただいている申請者へ周知を行い、参加者数や必要な感染対策についてお願いした。

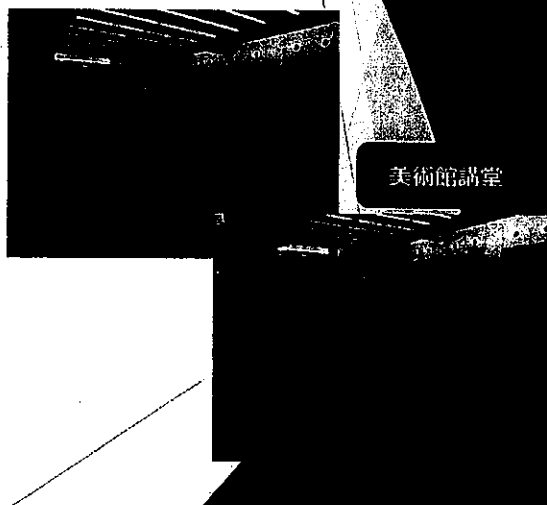
また、美術館では、講堂・ワークショップ室・工房の定員制限を緩和。今後も館主催事業も含めた定員に応じた利用者の増加が見込まれることから、必要な対策をしっかりと講じながら対応にあたり、再開後は状況に即した対応をとれるようにした。



講堂



研修室



美術館講堂

以上

